

2 課商品ラインナップ⑥

第6回の今回は使い捨ての手袋と障子紙についてです。

まず、医療・介護・福祉関連の作業、ガーデニング、部品組み立てなどの細かい作業や汚れ作業に適している使い捨ての手袋についてです。弊社で取り扱っているのは塩化ビニル製のもので、手へのフィット性が高く、作業がしやすくなっております。なお、フタル酸エステルを含む塩化ビニル製の素材で作られた手袋は食品への使用が禁止されていますので食品への使用の際は気をつけてください。弊社では食品衛生試験実施済みの製品も取り扱っておりますのでお気軽にお問い合わせください。

規格は 100 枚で 1 箱に入っており、左右兼用になっています。サイズは S・M・L の三種類用意しています。手袋には着脱をスムーズにするための打ち粉(コーンスターチ)をしてあるものとしてないものがあり、仕様用途によって使い分けができます。



次にこれからの時期大掃除などで張り替える機会が多い障子紙についてです。

障子は平安時代から現在まで、和風住宅に欠かせない建具として使われており、吸湿性や断熱性が高いだけでなく、日光を柔らかく拡散させることで、自然な明るさを作り出せます。

弊社で取り扱っているのは家庭でよく使用される 94 cm×7.2m の一般的な 1 枚張りの障子紙や、紙の両面を不織布で加工したしたとても破れにくい障子紙、昔ながらの中 8 寸 5 分(25.5 cm)・9 寸 3 分(28cm)の障子紙、障子の多いお宅にお勧めの沢山貼ることのできる業務用の障子紙まで幅広くあります。柄は雲竜か無地のものを中心に取り扱っています。

障子紙は 1 本からの販売ができますのでお気軽にお申し付けください。

障子紙によってはアイロンで貼れるものもありますが、昔ながらの障子紙を貼るためののりも販売しています。チューブ製のものとは水やお湯に溶いて使用する粉のりの 2 種類を取り扱っております。用途に合わせてご使用ください。

詳しい商品に関しては弊社の担当営業か、営業 2 課までお気軽にお問い合わせください。

(お)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業 1 課
027-361-5734
営業 2 課
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-kabasawa
@kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ

天保 8 年 (1837 年) 創業

スギウラ株式会社 027-361-5808

2012 年 12 月 1 日 発行 第 65 号

特 集

- ・ 三菱の高白コート
- ・ 「自炊」の話
- ・ ノロウイルスに気をつけましょう
- ・ 2 課商品ラインナップ⑥

三菱の高白コート



12 月になりました。

忘年会やクリスマス、新年に向けての大掃除といった毎年の行事に加え、今年は衆議院選挙も行われます。まさに「師走」に違わぬ忙しい年末になりそうです。

寒さも本格化し、冷え込みが一段と厳しくなってきました。更に、年末年始の連休での夜更かしや食べすぎ飲みすぎなど、不調へのきっかけが満載の季節でもあります。なるべくなら規則正しい生活を心がけ、新しい年を健康で迎えたいものです。

さて、震災の影響により生産中止となっていた三菱製紙の高白 A2 グロスコート (以下「高白コート」「ホワイトパールコート」) ですが、お客様からの多数のご要望によりリニューアルされ、再び発売されることになりました。名前は「パールコート N-BW」。「BW」はブルーホワイトの頭文字です。

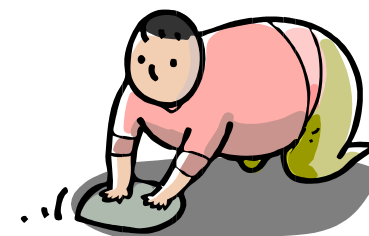
以前のホワイトパールコートは、少し赤みの白でしたが、今度のパールコート N-BW は名前の通り、少し青みかかった白に仕上がっています。

赤みのホワイトパールコートは、特に人の肌を印刷した際、その再現性に好評を得ていました。主に写真集やグラビアに需要がありました。しかし、一般的に紙を比べたとき、「これは白い」といわれるものは青みかかった白で、前述した需要以外にはなかなか選んでいただけないといった現実もあったようです。その上に震災が重なり、高白コートまで生産力を回せないこともあり、生産中止となりました。

それでも、高白コートへの問い合わせを多くいただき、再販売する流れとなりました。同時に、需要にあわせて色味を再検討しました。結果、少し青みかかったパールコート N-BW を販売することに至ったのです。

サンプル帳は新しいものを作っている最中なので、用意でき次第皆様にお届けいたします。それとは別に、印刷見本は手元に届きましたので、随時ご紹介させていただきます。

(K)



自炊の話

「自炊」という言葉はご存知かと思います。自分で料理を作るという意味ですが、今回はそちらではなく、ネットスラングで言う「自炊」の話です。元々は書籍などをスキャンして電子書籍端末等に「自分でデータを吸い込む」ことから「自吸い」→「自炊」となったようです。

基本的な手順としては、本や資料の無線とじや糸かがりなどでとじてある部分を断裁し、一枚一枚バラバラにして、スキャナでデジタルデータに変換し、それを電子端末で閲覧する（紙媒体の代わりにする）、というものです。

小紙 63 号で紹介したように、電子書籍の端末が普及したことにより、「自炊」する人も増えたようです。最初から本は電子書籍を買うという人には関係ありませんでしたが、もともと多量の本を持っている人には、省スペース化・内容の長期保存等という点で、有効な方法だったのかもしれない。

自炊は大抵の場合、断裁機とスキャナが必要です。しかしこれらを用意するのはお金も場所も必要ということで、次に「自炊代行業者」が現れました。自炊するための器具と場所を賃貸するというビジネスです。有名なところでは現在秋葉原と池袋に店舗がある「自炊の森」がありますが、何故有名かと言うと、出版社や作家に訴えられたからです。

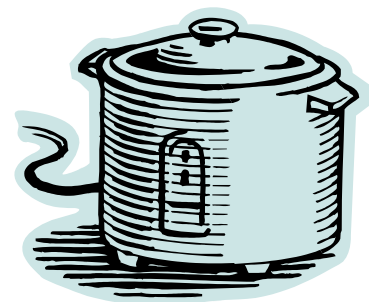
同店は平成 22 年末にプレオープンという形でスタートしました。店には自炊用機器のほか、断裁済みの漫画始め書籍が多数用意されており、それもデジタルデータとして持ち帰れました。店側は「図書館の本をコンビニでコピーするのと同じ」と主張しましたが、当然作家や出版社は強く抗議。公開質問状を送られたり、訴訟が起こったりした後、平成

23 年秋に閉店・・・したのですが、平成 24 年初旬に再オープンしました。今度は、断裁された本は用意されておらず、店に在庫してある本を客が購入した後に自炊、というシステムに変わりました。他にも、書籍使用料についてホームページで言及してあったり、さらにスキャンしたデータの行方を店側が追いかけられるようにするなど、一応、著作権に一定の配慮した格好をとっていると思われます。店は平成 24 年 11 月現在でまだありますので、出版社側も様子見の状態なのかもしれません。

今、ネットオークション等には、自炊用の断裁済み書籍が沢山出品されています。本好きな人からすれば、「本をバラバラにするなんてとんでもない！」と思われるかもしれませんが。しかし電子書籍が普及したように、人と本の関わり方も確実に変わりつつあります。ただ、それらを取り巻く著作権関係の法令整備は相変わらず立ち遅れており、そんな中で「自炊の森」のような存在が現れたのは、ある意味では当然であるとも言えます。

法整備は一刻も早く進めてもらうとして、人と本、本と紙との関係についても、私たち自身が考え直す時期なのかもしれません。

(A)



営業 1 課・今月の商品紹介

- ・ パールコート N-BW

是非ご検討を！まずは一度、お問い合わせ下さい。

ノロウイルスに気をつけましょう

ノロウイルスは冬場に流行する食中毒の代表です。経口感染により、嘔吐や下痢などの胃腸炎症状を引き起こすウイルスで、特徴としては、消毒薬に対する抵抗性が強いこと、一度かかっても何度も感染することなどです。ノロウイルスはアルコールに強いだけでなく、高温や乾燥、酸にも強い非常に厄介なウイルスで、さらに多数の遺伝子型があり、同じ人が複数の違った型に感染することがあるので、1 度かかったからと安心していても再感染することもあります。また感染していても発症しない場合や軽い風邪のような症状のみの場合もありますが、他人への二次感染の心配があるので注意が必要です。

ノロウイルスは、乳幼児からお年寄りまで、幅広い年齢層で感染・発症するため、集団発生を起こしやすく、特に用心が必要です。ノロウイルスの集団発生は、12 月から 2 月がピークです。

感染ルートとしては、

- ・ 感染者のウイルスが大量に含まれる便や吐物などから直接もしくは二次的に感染する場合
- ・ ウイルスに感染した食品取扱者を介して汚染された食品を食べた場合
- ・ ウイルスに汚染された貝類を生あるいは加熱不十分で食べた場合
- ・ ウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取した場合

などがあります。特に食品取扱者を介して二次感染するケースが近年増加傾向です。

治療法としては対症療法が一般的で、ノロウイルスに対する特効薬はありませんが、症状の持続する期間は短いので、その間に脱水にならないように、できる限り水分の補給をすること（場合によっては病院で点滴をしてもらって）が大切です。抗生物質は効果がありませんし、下痢の期間を長引かせることがあるので、ノロウイルス感染症に対しては通常は使用しません。

その他は吐き気止めや整腸剤などの薬を使用したり、下痢が長びく場合には下痢止めの薬を投与されることもあります。無理に下痢を止めるとウイルスが体内に留まり病気の回復を遅らせることがあるので、できるだけ使用しないほうが良いです。

予防法としては、

- ・ 食事の前やトイレのあとなどには石鹸を使いしっかりと手洗いをする。
- ・ タオル等は共用を避ける。
- ・ 下痢や嘔吐の症状のある人に食品を取り扱う作業をさせない。
- ・ 食品の加熱を十分に行う（食品の中心温度が 85℃で 1 分以上しっかり熱を通す）。
- ・ 便や吐物の処理をするときは素手で触らず、必ずビニール手袋とマスクを着用して行う。
- ・ 汚物の消毒には次亜塩素酸などの塩素系消毒剤を使用する。

などがあります。

二次感染を防ぐため、感染者の便や嘔吐物を処理する際には使い捨てペーパータオル等で取り除き、残った便や嘔吐物の上にペーパータオルをかぶせ、その上から 50～100 倍に薄めた塩素系漂白剤を十分浸るように注ぎ、汚染場所を広げないようによく拭き取り、ビニール袋に入れて処理してください。このときくれぐれもビニール手袋とマスクをお忘れなく。ウイルスは乾燥すると空気中を漂い、これが口に入って感染することがあるので、弁や嘔吐物を乾燥させないことも重要です。

(お)

